## 産婦人科領域における DL-8280 の基礎的・臨床的検討

# 山元貴雄・保田仁介・金尾昌明・岡田弘二 京都府立医科大学産婦人科学教室 (主任:岡田弘二教授)

新しく開発されたピリドンカルボン酸系の経口抗菌剤である DL-8280 について基礎的, 臨床的検討を行い, 以下の結果を得た。

- 1) 母体血清中濃度を測定した結果,投与後 8 時間を経過しても  $1.0~\mu g/ml$  と高値を示し,DL-8280 の優れた血中持続性が認められた。
  - 2) 臍帯血清中および羊水中濃度を測定したところ、本剤はそれぞれに良好な移行性を示した。
- 3) 臨床的検討として婦人科感染症 13 例, 尿路感染症 16 例, 計 29 例に本剤投与を行った結果, 著効 3 例, 有効 23 例, 無効 3 例となり, 有効率は 89.7% と良好な成績であった。

また、細菌学的効果も良好で33株中30株が除菌可能であり、除菌率は90.9%と高値を示した。

4) 本剤投与に起因する副作用および臨床検査値異常は全例に認められなかった。

DL-8280 は、我が国で開発された新しいピリドンカルボン酸系の経口抗菌剤であり、Fig. 1 に示すようにオキサジン環を有する特徴的な構造を持つ。

本剤の抗菌スペクトラムは広範囲で、E. coli, Klebsiella をはじめ、P. aeruginosa、Proteus を含むグラム陰性菌のみならず、従来この系統の薬剤の弱点とされたグラム陽性菌に対しても優れた抗菌力を示す。さらに B. fragilis、Peptococcus、Peptostreptococcus などの嫌気性菌に対しても抗菌力を有しているい。

本剤は経口投与により、腸管から速やかに吸収され、投与後 1時間で投与量に相関した高い血中濃度を示し、その後数時間 にわたり高濃度を維持する。また、本剤は体内ではほとんど代 謝を受けることなく、投与後24時間までに80~90%が未変化 体のまま尿中に排泄される。さらに連続投与による蓄積性も認 められないという利点をも有している。

今回、われわれは 産婦人科領域における 本剤の基礎的検討, ならびに 臨床的有効性, 安全性を検討する 機会を得たので報告 する。

Fig. 1 Chemical structure of DL-8280

#### I. 母児間移行性の検討

#### 1. 方法

DL-8280 の母体血清中濃度, 胎児および羊水への移行を検討する目的で, 分娩前の 産婦 8 例に 本剤 1 回 200

mg を経口投与し、児娩出時の母体静脈血、羊水および 臍帯血を採取した。

得られた検体は直ちに遠心分離を行い,血液については血清を,羊水については上清を, $-30^{\circ}$ C にて凍結保存した後,濃度測定に供した。

DL-8280 濃度測定は第一製薬研究所にて, E. coli Kp あるいは B. subtilis ATCC 6051 を検定菌とする bioassay 法を用いた。

#### 2. 結果

各症例における母体血, 臍帯血および羊水中 DL-8280 濃度の測定値を Table 1 に示し, またそれぞれの経時的 濃度推移を Fig. 2 に示した。

母体血清中 DL-8280 濃度は,投与後 1 時間 15分で  $0.43~\mu g/ml$  の値を示し,投与後 2 時間 19分で最高値  $1.40~\mu g/ml$  に達し,以後漸減するものの投与後 8 時間 を経過しても約  $1.0~\mu g/ml$  の値を維持した。

臍帯血清中濃度 は,投 与後 1 時間 15 分 c 0.14  $\mu$ g/ml,投 5後 2 時間 14 分 c 0.63  $\mu$ g/ml,投 5後 8 時間を経過すると,約 0.97  $\mu$ g/ml の濃度を示した。

羊水中濃度は、投与後1時間28分で 0.20 μg/ml と 測定された例が1例あるが、他症例では投与時間早期に は検出されず、投与後6時間50分から全例検出可能と なり、投与後8時間を経過すると、母体血清中濃度と同等あるいはそれ以上の値を示した。

これらの結果より、本剤は経口剤としては長時間にわたる母体血清中濃度の持続性、投与時間後期における良好な羊水中への移行性が認められた。

Table 1 Concentration of DL-8280 in maternal serum, umbilical cord serum and amniotic fluid after oral administration of 200 mg dose

	T:	Conc	entration (µ	g/ml)
Case No.	Time (hr:min)	Maternal serum	Umbilical cord serum	Amniotic cord serum
1	1:15	0.43	0.14	N D
2	1:28	0.88	0.68	0.20
3	2:14	1.18	0.63	ND
4	2:19	1.40	0.86	ND
5	6:50	0.75	0.42	0.25
6	7 : 28	0.88	0.53	0.19
7	8:15	0.95	0.90	0.89
8	8 : 43	1.06	1.03	2.24

ND: <0.10

# **/ II. 臨床例に対する検討**

#### 1. 投与対象

昭和57年3月から8月までの間に京都府立医科大学 付属病院産婦人科および関連病院における患者のうち、 種々の感染症を有する29例である。

感染症の内訳は、子宮内感染 2 例、骨盤内感染 7 例、 外性器感染 2 例および術後の膣断端 炎 2 例、計 13 例 の 産婦人科感染症、ならびに腎盂炎 5 例および 膀 胱 炎 11 例、計 16 例の尿路感染症である。なお、基礎疾患 に 悪 性腫瘍を有する症例が 15 例含まれている。

#### 2. 投与方法

DL-8280 1 回 100~300 mg を 1 日 2~3 回, 6~10 日間投与した。投与量ならびに投与期間については、重症度を加味して行った。1日投与量の内訳は、200 mg 8 例、300 mg 9 例、400 mg 3 例、600 mg 8 例、900 mg 1 例である。なお、本剤投与期間中に他の抗生剤または抗菌剤の投与は一切行っていない。

#### 3. 効果判定基準

効果判定は以下の基準とした。

著効:主要自他覚症状が3日以内に著しく改善し、治 意に至った場合

有効:主要自他覚症状が3日以内に改善の傾向を示し、その後治療に至った場合

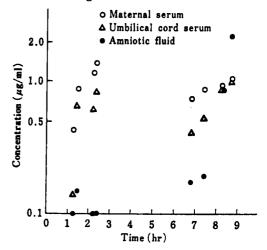
無効:主要自他覚症状が3日を経過しても改善されな い場合

なお、手術、切開等の外科的処置を併用した場合は、 着効とはせず、すべて有効と判定した。

# 4. 臨床成績

Table 2 に本剤投与症例の年齢,体重,診断名,1日

Fig. 2 Concentration of DL-8280 in maternal serum, umbilical cord serum and amniotic fluid after oral administration of 200 mg dose



投与量, 投与期間, 総投与量, 分離菌, 臨床効果および 副作用の有無を示した。

また、Table 3 に各症例を疾患群別に分類し、それぞれの有効率を示した。

Table 3 に示すごとく、産婦人科感染症 13 例に本剤 投与を行った結果、骨盤腹膜炎症例 1 例を除く全例に有 効以上の成績が得られた。なお、骨盤腹膜炎症例につい ては 3 例から S. faecalis が検出され、いずれも除菌可 能であったが、臨床効果の点より 1 例は無効と 判定し た。すなわち産婦人科感染症に対する本剤の有効率は、 92.3% と極めて良好な値を示した。また、尿路感染症 16 例に対する本剤の治療効果も良好で、腎盂炎、膀胱 炎各 1 例の無効例を認めただけで、有効率は 87.5% と 高値を示した。

以上,産婦人科感染症 13 例,尿路感染症 16 例,計 29 例に対し本剤投与を行ったところ著効 3 例,有効 23 例,無効 3 例であり,全体的な有効率は 89.7% と満足 すべき成績であった。

つぎに分離菌別に本剤の有効率を検討した。Table 4 に示すごとく、菌検出可能であった 28 症例から 9 菌 種 33株が分離され、本剤投与の結果 33 株中 30 株が除菌可 能であったため、除菌率は 90.9% と非常に高値となっ た。

#### III. 副作用ならびに臨床検査値異常

本剤投与を行った全例に自他覚的な副作用は認められなかった。

Table 5 に本剤投与前後の臨床検査値の変動を示した。症例 8 に肝機能検査値異常が認められるが、これは

Table 2 Clinical effect of DL-8280

Eradicated Fradicated
E. coli K. pneumoniae
10 7 7
100×3 200×2 100×3 100×3
Endometritis Endometritis Parametritis Parametritis
51 Endometritis 41 Endometritis 69 Parametritis 48 Parametritis 54 Parametritis
26 74 35 37

Table 3 Summa	ry of	clinical	effects	of	DL-8280
---------------	-------	----------	---------	----	---------

Type of infection	Diagnosis	No. of cases	Excellent	Good	Poor	Efficacy rate
Intrauterine	Endometritis	2		2		,
infection	Sub total	2		2		2 / 2 (100%)
	Pelvic peritonitis	4		3	1	
Pelvic infection	Parametritis	3		3		
	Sub total	7		6	1	6 / 7 (85.7%)
Œ	'Bartholinitis	1		1		
External genital	Vulvar abscess	1		1		
infection	Sub total	2		2		2/2(100%)
Others	Vaginal stump abscess	2	1	1		
Others	Sub total	2	1	1		2 / 2 (100%)
	Total	13	1	11	1	12/13(92.3%)
order.	Pyelitis	5	2	2	1	
UTI	Cystitis	11		10	1	
	Total	16	2	12	2	14/16(87.5%)
Tot	al	29	3	23	3	26/29(89.7%)

Table 4 Bacteriological response to DL-8280

	Isolates	No. of strains	Eradicated	Persisted	Eradication rate
S. aureus		2	2		
G(+)	S. faecalis	6	4	2	
	Sub total	8	6	2	75.0%
	E. coli	16	15	1	
	K. pneumoniae	3	3		
	K. oxytoca	1	1		
۵, ۱	C. freundii	1	1		
G(-)	P. vulgaris	1	1		
	P. morganii	1	1		
	P. aeruginosa	2	2		
	Sub total	25	24	1	96.0%
	rotal	33	30	3	90.9%

輸血後肝炎によるものであり、本剤投与に起因するものではないと考えられた。

## IV. 考案

現在、化学療法剤としてセフェム系、ペニシリン系などの  $\beta$ -lactam 剤が幅広く使用されている。しかし  $\beta$ -lactam 系薬剤の持つ大きな弱点として、R プラスミドを介する耐性菌の出現があげられる。

ナリジクス酸、ピペミド酸などに代表されるピリドンカルボン酸系の薬剤は、R プラスミドによる耐性獲得の報告は見られず、従来より尿路感染症など一部の領域において広く使用されている。しかし、本系統の薬剤も抗菌スペクトラムの狭さ、あるいは抗菌力の点で不十分であったことも事実である。

しかし, 今回検討を行った DL-8280 は, グラム陰性

Table 5 Laboratory findings

																																_
eat.	(IP/	V	0.5	0.5	0.5	9.0	9.0	0.5	0.7	•6·0	6.0	8.0	0.7	8.0	9.0	9.0	9.0	0.5		6.0		9.0	9.0			6.0		7.0	9.0		9.0	
S-Creat.	(mg/dl)	В	0.4	7.0	0.5	6.0	0.7	9.0	1.0	6.0	8.0		9.0	9.0	9.0	9.0	0.5	9.0		6.0	1.0	9.0	9.0					9.0	0.5		9.0	
BUN	(mg/dl)	V	80	16	=	12	2	6	•	12	19	∞	6	9	6	12	12	19		2		6	12			13		82	=		82	
18	(mg	В	6	15	11	15	13	12	∞	17	ଛ		6	•	7	91	Ξ	19		=	15	=	=					=	12		2	
T-Bil.	(mg/dl)	A	9.0	0.5		0.5	0.7	9.4	0.5	2.0	0.5	7.0	8.	1.0	<b>†</b> .0	9.0		0.5	0.7	0.7			0.3			0.3		0.5	0.5		0.7	
Ţ	(mg	В	9.0	0.5	1.1	0.7	1.4	0.4	0.5	0.7	8.0	0.9	8.0	6.0	1.6	0.5	8.0	0.7	0.5	9.0	0.5		0.5			0.5		0.5	<b>7</b> .0		1.0	
ase	U)	V	8.0	7.7	4.8	6.2	<b>8</b> .4	12.1	6.1	27.0	5.1	0.9	8.2	12.5	4.5	4.8	6.2	9.9	8.7	7.2	9.4	8.1	6.2			5.4		5.3	<b>4</b> .6		5.2	
Al-Pase	(KAU)	В	7.2	5.3	2.6	0.9	8.5	15.9	5.4	10.3	5.0	9.8	9.3	14.7	4.6	4.0	5.8	8.9	8.5	8.9	5.4	8.1	<b>9</b> .4			5.0		5.8	<b>*</b> .		4.9	
PT	ŝ	Α	15	က	15	15	33	S	<b>∞</b>	840	7	13	12	52	23	16	12	12	6	4	12	83	15			7		22	7		18	
S-GPT	(KU)	В	22	9	15	22	88	19	9	107	0	24	91	36	13	15	12	8	9	33	88	22	12			12		32	91		17	
OT		V	82	=	12	8	44	7	16	490	15	13	16	83	16	19	8	18	22	31	18	31	22			82		33	13		12	
S-GOT	(KU)	В	24	13	6	22	8	22	15	8	18	92	17	52	7	18	12	77	16	88	52	22	18			12		53	12		11	
e.	mm³)	A	20.6	22.6	20.7	17.4	34.8	24.1	38.2	12.0	31.9	35.8	19.3	18.0	17.0	23.0	17.4	25.0	45.9	21.0			17.4			28.1		23.0	20.6		23.9	
Plate.	$(10^4/mm^3)$	В	19.7	17.5	24.0	8.72	17.9	26.4	26.4	11.7	35.1	35.5	18.4	16.1	15.3	30.9	21.0	29.0	8.8	19.0		32.7	20.0			27.1		20.2	8.02		27.2	
ည္က	/mm <sup>4</sup> )	V	8,300	.3,800	6,200	5,900	9,200	4,800	2,900	3,500	7,700	7,700	3,800	2,900	4,600	3,100	5,900	6,400	9,900	6,200	2,300	8,200	2,900		4,900	4,200	6,200	3,300	6,400	6,200	5,100	
WBC	)	В	11,200	4,700	9,900	9,800	6,500	2,600	8,000	6,500	10,400	8,200	2,900	4,900	6,600	3,600	9,600	2,800	10,300	10,900	8,700	8,800	9,700	2,300	4,400	10,600	8,800	4,100	8,800	8,800	14,300	
	)	A	38.4	38.7	39.4	35.5	36.2	38.5	31.5	39.3	32.8	40.1	36.6	36.9	37.0	35.0	35.5	30.5	29.5	34.0	30.9	36.8	35.5			37.0		37.6	38.4		38.6	
五	(%)	В	37.9	37.7	34.1	34.7	37.6	34.4	32.8	42.2	35.5	38.3	37.2	35.8	35.1	34.4	30.9	35.8	27.4	34.2	34.6	40.9	34.1	41.1		33.6		36.5	39.0		40.0	
		<b>4</b>	13.1	12.9	13.3	11.5	12.2	11.0	10.4	13.0	10.9	12.4	11.8	12.2	12.0	11.6	11.5	8.6	8.6	11.2	10.7	11.7	11.5		12.5	10.9		11.7	13.2		12.6	
HP	(lp/g)	В	12.5	13.0	11.6	11.7	12.2	11.11	11.1	13.8	11.5	11.9	12.7	11.9	11.5	11.7	11.1	11.5	9.3	11.3	11.5	12.6	10.9	13.0	11.4	10.5		11.7	13.0		12.9	
ပ္	mm³)	A	415	417	425	329	405	420	358	418	354	425	364	407	379	358	329	334	305	336	297	393	359			476		395	425		427	
RBC	$(10^4/mm^3)$	В	394	424	360	375	413	419	376	450	385	412	374	396	363	357	363	401	301	341	319	420	347	438		444		389	435		429	
,	Case		1	7	က	4	2	9	7	<b>∞</b>	6	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	52	92	22	82	53	

Post blood transfusion hepatitis
 B: before treatment, A: after treatment

innation in interference in

## V. 結 語

われわれは DL-8280 の基礎的、臨床的検討を行い以下の結果を得た。

1) 本剤の母体血清中濃度は持続的であり投与後8時間を経過しても約1.0 µg/mlの値を維持した。

臍帯血清中濃度は,投与後1時間15分で母体血清中 濃度の約1/3の値を示し,投与後8時間を経過すると, 母体血清中濃度とほぼ同等の値を示した。

羊水中への移行は、やや遅れるものの投与後8時間を 経過すると、母体血清中濃度と同等あるいはそれ以上と なり良好であった。

2) 産婦人科感染症 13 例, 尿路感染症 16 例, 計 29 例に本剤投与を行ったところ, 著 効 3 例, 有 効 23 例, 無効 3 例であったため有効率は 89.7% となり経口 剤 としては極めて満足すべき成績を得た。

また、細菌学的効果も良好で33株中30株が除菌可能 であったため、除菌率は90.9%と高値を示した。

3) 本剤投与に起因する自他覚的な副作用ならびに臨床検査値異常は全例に認められなかった。

以上の基礎的,臨床的検討より DL-8280 は産婦人科 感染症および尿路感染症に対し有効性を有しており,ま た安全性の高い薬剤であると判断した。

#### 文 献

- SATO, K.; Y. MATSUURA, T. UNE, Y. OSADA, H. OGAWA & S. MITSUHASHI: In vitro and in vivo activity of DL-8280, a new oxazine derivative. Antimicr. Agents & Chemoth. 22: 548~553, 1982
- 2) 第30回日本化学療法学会西日本支部総会,新薬シンポジウム, DL-8280, 1982

# FUNDAMENTAL AND CLINICAL STUDIES ON DL-8280 IN THE FIELD OF OBSTETRICS AND GYNECOLOGY

TAKAO YAMAMOTO, JINSUKE YASUDA, MASAAKI KANAO and HIROJI OKADA
Department of Obstetrics and Gynecology, Kyoto Prefectural University of Medicine
(Director: Prof. HIROJI OKADA)

Fundamental and clinical studies on DL-8280, a new synthetic antibacterial drug were performed and following results were obtained.

1) Concentration of DL-8280 was examined in maternal serum, umbilical cord serum and amniotic fluid after oral administration of 200 mg dose.

The peak level of DL-8280 in maternal serum was 1.40  $\mu$ g/ml (2 hr 19 min).

The transfer of DL-8280 to umbilical cord serum and amniotic fluid was sufficient.

2) DL-8280 was administered clinically to 29 patients with gynecological or urinary tract infection.

Clinical efficacy was excellent in 3 cases, good in 23 cases and poor in 3 cases and so efficacy rate was achieved 89.7%.

As the bacteriological efficacy, 30 organisms out of 33 were eradicated.

No side effects were observed in any of the patients studied.